

平成29年度学校経営計画表

1 学校の現状

学校番号	20	学校名	県立水戸農業高等学校				課程	全日制			校長名	青砥武夫				
教頭名	池田啓一		蛭田清孝			小坏正代			事務室長名	田口佳実						
教職員数	教諭	60	養護教諭	2	常勤講師	13	非常勤講師	6	実習教諭・実習指導員	25	事務職員	8	技術職員等	27	計	146
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	農業科	34	7	33	6	30	9			97	22	3				
	畜産科	22	18	15	25	10	30			47	73	3				
	園芸科	10	30	22	15	14	22			46	67	3				
	生活科学科	2	38	1	37	3	36			6	111	3				
	農業土木科	40	0	35	0	39	0			114	0	3				
	食品化学科	13	27	18	22	17	22			48	71	3				
農業経済科	30	10	30	7	22	18			82	35	3					

2 目指す学校像

<ul style="list-style-type: none"> ・知・徳・体を身に付けた社会に有為な人材を育成する学校 ・生徒一人一人の進路希望の実現を支援する学校 ・魅力ある農業教育の国際交流等を通して、地域社会の発展に貢献する学校 ・体験学習・国語・英語・数学・理科・社会・保健体育・芸術・体育・音楽・情報・総合・職業教育等を通じて、生徒の個性を伸ばし、将来の社会で活躍できる人材を育成する学校 ・地域社会との連携を図り、地域に貢献する学校
--

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に対し明確な目標を持つ生徒と持たない生徒の学習意欲の差が著しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に合わせたわかりやすい授業を心がけ、授業に積極的に参加する意識を育成する。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様な進路希望に対応できる指導体制が確立されていない。 ・望ましい職業観・勤労観が身に付いていない生徒が見られる。 ・農業教育の特性を生かした進路指導が十分に展開できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各指導体制の連絡を密にし、1年次から体系的な進路指導の確立を図る。 ・LHR等あらゆる機会を利用して、進路情報を適切に提供する。 ・進路講話やインターンシップ等により職業体験活動の参加数を高め、望ましい勤労観・職業観の育成に努める。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・公共マナーへの遵守意識が不十分であり、校則を守れない生徒がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とともに連携を密にし、基本的な生活習慣の育成を図る。 ・公共のルールやマナーを守ることの大切さを理解させる。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の加入率が低い。 ・いろいろな学校行事に対して生徒の参加意欲の低下がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や農業クラブ活動を活発にし、魅力ある学校行事を実施する。 ・部活動紹介や見学会等を実施し部活動加入率を高める。
農業教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことや実習の意義を十分理解できず、農業への興味・関心の低い生徒がみられる。 ・農業クラブ活動、体験学習への参加意欲がやや乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習の充実と農業クラブの各種発表会、競技会への参加人数を増やし、活性化に努める。 ・資格取得を奨励し、学習意欲の向上を図る。 ・就農講話等を通して職業観・勤労観を養う。

4 中期的目標

1	学習活動に意欲を持たせられたために、特色ある本校施設を十分に活かした教育課程を編成するとともに、体験活動から基礎的な学習の短期大入試への進学を促すこと、多様な学習の場を確保し、進路ガイダンスや個人面接、課外学習の機会を増やしAO入試・推薦入試・一般入試の準備を進め、大学訪問を行い、入試情報や指定校推薦枠の獲得に努める。
2	心の教育の充実を図る。ボランティア活動や生徒自身が主体的に実践する。
3	ボラ生農
4	進
5	進

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
・ 基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣や規範意識、好ましい人間関係づくりを身に付けさせる。 ・ 道徳教育や農業教育等を通して、豊かな人間性や素直な心を育む。
・ 基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ防止基本方針に基づき、いじめの絶無に努める。 ・ 授業を大切にし、積極的な授業公開や研究授業に取り組むことで、学習内容の質的向上を図る。 ・ わかる授業、楽しい授業を工夫・展開することで、関心・意欲を引き出し、主体的に学習に取り組む習慣を身に付けさせる。 ・ 生徒個々の能力の伸長を図り、観点別学習状況の評価を踏まえた学習評価を実施する。
・ 系統的な進路指導と指導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年段階ごとに適した適正な進路指導を行う。 ・ 生徒の進路に沿った自己実現のための、適切な支援・指導を行う。
・ 特別活動及び部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動、社会教育活動、環境美化活動等への積極的な参加を促す。 ・ 学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動の充実を図る。
・ 健康と安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動部・文化部等の加入率の向上を図り、部活動の活性化に努める。 ・ 安全教育の徹底を図り、特に交通事故の絶無に努める。 ・ 危機管理、防災、不審者対応などのマニュアルの周知徹底を図る。 ・ 自然災害等に対する備えを十分に行い、具体的な行動計画を作成し、訓練を行う。 ・ 環境整備を進めるとともに、学校施設等の点検・充実に努める。
・ 農業教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒及び職員の健康管理に努め、健康の保持増進を図る。 ・ 一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業への取組を推進することで、魅力ある農業教育を実践し、農業後継者及び関連産業技術者の育成を図る。 ・ プロジェクト学習や各種発表会・競技会等に積極的に取り組ませ、学校農業クラブ活動の充実を図る。 ・ 開かれた学校づくりを継続・発展させるとともに、地域と連携した体験学習（インターンシップ等）の充実を図る。 ・ 資格取得への積極的な取組と合格率の向上を図る。